

## 中川原公園を一時的に開放する社会実験を実施しました

今年度に災害復旧工事を実施する中川原公園について、工事が始まるまでの期間（8月19日～9月19日）に同公園を一時的に開放する社会実験を行いました。台風10号の接近で浸水し開放できない期間がありましたが、ランニングや犬の散歩、川遊びなどに利用されました。

利用者には、同公園内にあったらいいと思う施設や今後どのように利用したいかなどを尋ねるアンケートを実施。その結果は今後の同公園の利活用や運用に生かし、これまで以上に市民の皆さんの憩いの場として親しまれるよう整備を進めていきます。



### アンケートで出された意見の一部

- 以前のようにキャンプができるようにしてほしい。
- 手を入れ過ぎることなく、球磨川を楽しめる場所であってほしい。
- 有料の駐車場として開放してもいいのでは。
- ランニングコースやキャッチボールができるような芝生の整備を。
- 川に降りて遊べるように階段ができないか。
- 手洗い場や水道があるとありがたい。
- 台風で浸水した後、堆積した細かい土砂が舞い上がって困った。

問合せ 市都市計画課計画公園係 (☎22-2111 内線2213)

## 復興まちづくりを推進する新しい体制がスタートしました

市では、令和2年7月豪雨災害で特に被害が大きかった「まちなか」（中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区）で地区を横断したまちづくりを進めるため、「人吉市まちなかランドデザイン推進方針」を令和6年3月に策定しました。同推進方針では、ハード面の整備など「つくる」側の行政だけでなく、完成後の「つかう」側である民間の担い手が計画段階から関わることで、官民で将来像を共有し、地域の価値を持続的に生み出していくことを目指しています。

そこで、官民の新たな推進体制として、各復興事業の総括的な意思決定機関となる「復興まちづくり推進会議」と、デザインの統一や事業間の調和を図る「復興まちづくりデザイン会議」を設置しました。今後は市民や事業者の皆さんとの意見交換などを行って具体的な計画を策定し、同推進方針を形にするための取り組みを進めていきます。



◀人吉市まちなかランドデザイン推進方針について、詳しくはこちらをご覧ください。



◀復興まちづくり推進会議・デザイン会議について、詳しくはこちらをご覧ください。今後も情報を追加していきます。



▲8月20日に第1回復興まちづくり推進会議を開催。各団体の代表者や学識経験者らが、復興まちづくりの推進体制や各会議の設置要項案について審議した



▲8月21日に第1回復興まちづくりデザイン会議を開催。中川原公園や青井阿蘇神社周辺の利活用など各事業の説明があり、参加者は活発に意見を交換

問合せ 市復興支援課まちづくり推進係 (☎22-2111 内線3115)

**100歳を迎えて**  
あまり実感がありません。

**若いころの仕事**  
兵隊として勤務した後、山で木を切る仕事をしていました。



▲100歳を迎えた里田さんを松岡市長が訪問し、記念品を渡しました

**現在の暮らし**  
息子夫婦と孫夫婦と暮らしています。普段は家にいて、天気がいい日はシニアカーに乗って出かけています。

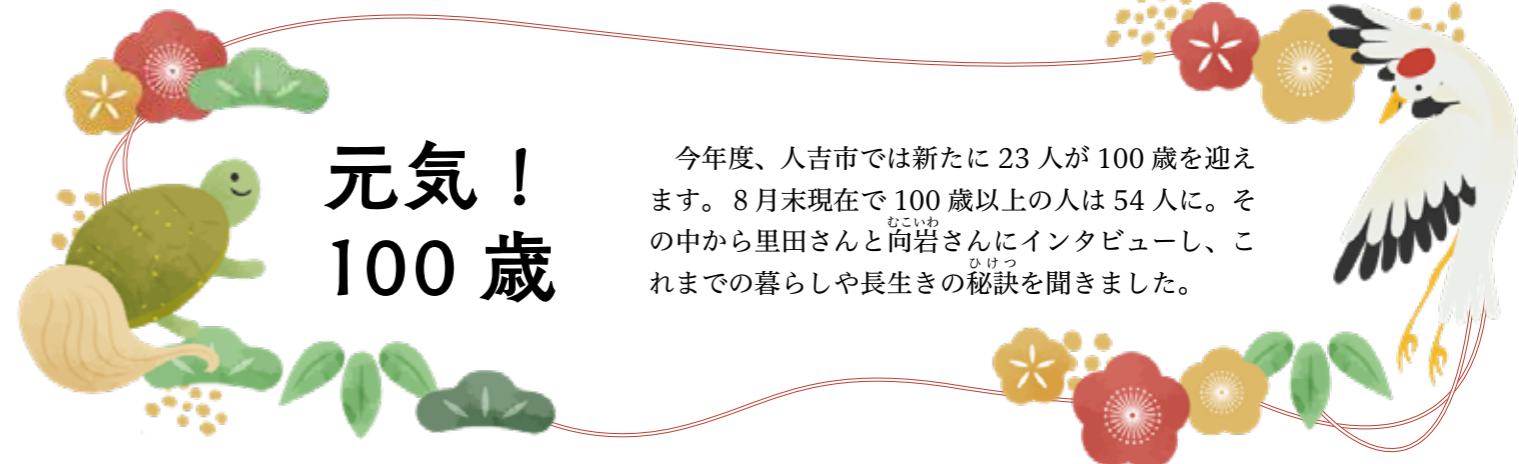
**元気の秘訣**  
笑ってのんびり暮らすことです。

**今の楽しみ**  
ひ孫の成長を見ること。とにかく人と話すことが好きで、施設の人と話すことも楽しみです。

**人吉で好きな場所**  
人吉は全部好き。中でも昔の思い出が詰まった川が好きです。



里田 博さん  
(下原田町字羽田)  
大正13年8月30日生まれ



## 元氣！ 100歳

今年度、人吉市では新たに23人が100歳を迎えます。8月末現在で100歳以上の人は54人に。その中から里田さんと向岩さんにインタビューし、これまでの暮らしや長生の秘訣を聞きました。

**100歳を迎えて**  
体が元気だから100歳という感じがしません。

**若いころの仕事**  
農業と畜産業をしていました。

**現在の暮らし**  
息子夫婦と孫と暮らしていて、一緒に農業をしています。

**元気の秘訣**  
動くこと。大根や高菜を種まきから育てたり、作った野菜をリヤカーで販売したりしています。

**今の楽しみ**  
正月に家族みんなが集まるのが楽しみです。

**人吉で好きな場所**  
堀町内公民館のデイサロン。



向岩 スエ子さん  
(下原田町字堀)  
大正13年10月3日生まれ



▲足を高く上げて体操をする向岩さんの姿に、デイサロンのみんなも驚きます